

# 動労千葉 10回野球大会、盛大に開催さる！

## 日刊 動労千葉

79.6.20  
No. 151

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二五八・九(公衆)三三三・二七二〇七

### 館山、津田沼、新小岩、成田支部チームが それぞれ準決勝に進出！

動労千葉第一回野球大会は、六月十八日、一〇時すぎ、千葉市・こてはし球場において佐倉支部チームも含め、八支部が参加し、開会式に続いて一、二回戦四試合が行なわれ、館山、津田沼、新小岩、成田支部チームが勝ち、二八日の準決勝戦に進出した。

開会式、八支部の全選手が参加、  
沢選手(勝浦)が力強く選手宣誓！

開会式は、一〇時すぎ、林文化部長の司会で始まり、前年度優勝チームの津田沼支部より優勝杯の返還、つづいて千葉本部長野書記長より「三月三〇日の結成大会以降、二ヶ月半、八支部一分科会が結成され、のこる支部、分科会も着実に前進し、基本的に勝利の展望が開かれた。公労委の認知も一五日にかちとった。今日の野球大会には、佐倉支部からも参加を得て有意義な大会として正堂々と闘ってほしい」とあいさつがあった。そして、特に佐倉支部の選手は、全参加者の力強い拍手でむかえられた。

さらに、勝浦支部沢昭朗選手の力強い選手宣誓を最後に、開会式を終了。

各試合経過

第一試合 (Aグラウンド)	
千葉転	2010030
津田沼	3200101X
	7

千葉転は、一回相手投手の立上りのみだれと野手エラーが加わりヒットなしで二点をもぎとった。津田沼は、昨年の優勝チームの貫ろく十分。三本の長短打などであっさり逆転。二回に二点、五回にも一点を加え、大きくリードした。

しかし、千葉転は、三回に一点、六回には地元支部の根性を出して矢沢の三点ホームランで同点にし、試合をふり出しにもどし、延長戦かと思わせた。

しかし、最終回、津田沼の攻撃、二番古川四球のあと、四番石川が中堅越えのサヨナラ二塁打で千葉転の進撃をふり切った。

第一試合 (Bグラウンド)

館山	26022
佐倉	00100
	1

館山は、佐倉の二人のピッチャーに一回藤浪のランニングホームラン、二回石川の中越え、三瓶の左越えの三ホームランを含む大量一二点の猛打をあげた。

佐倉は、全員一丸となって強豪館山にいどみ、

三回、執念の一点をもぎとり、五回コールド負けしたものの、佐倉の最後まで健闘が光った。

第二試合 (Aグラウンド)

勝浦	0000020
成田	2201000
	5

成田は、一回猛打が爆発。田山の三塁打を含む三安打、二四球、などで二点を先行。二回にも三安打をあげ、二点を追加。四回にも一点を加え、五対〇とリード。

一方、勝浦は、神崎投手の好投にはばまれ、五回まで無得点。

六回、ようやく二点を返したが及ばず。

第二試合 (Bグラウンド)

幕張	0000000
新小岩	200030X
	5

幕張は、大岩投手の巧妙なピッチングを攻めめぐみ、一安打完封を許す。

一方、新小岩は、一回に二点、五回には四番鈴木の中越え、五番柴崎の中越え、六番大岩の中越えの連続三塁打で三点を追加し、新小岩に軍配が上った。

こうして、館山、津田沼、新小岩、成田チームがそれぞれ勝ち、二八日に行なわれる準決勝戦に進出した。

動労「本部」反動集団の動労千葉破壊策動を断固はねのけつつ、特に佐倉支部が参加しての野球大会が盛大に開催されたことは、今後の組織的前進と発展にとって極めて重要な意義をもっている。野球大会の成功をはじめとして、サークル活動をますます活発化し、各支部・各職場の交流と連帯をさらに深めて、強固な組織体制を築こうではないか。

☆ ソフトボール大会	・ 六月二二日 九時開会式
・ 幕張グラウンド	
☆ 野球大会	・ 六月二八日 一〇時
・ こてはし球場	
☆ いも堀り大会	・ 七月一日